

## 中央区協働推進会議（平成23年度第1回）議事要旨

---

### 1. 日時

平成23年5月12日（木）16:00～18:30

### 2. 場所

中央区役所別館7階B会議室

### 3. 出席者

#### 【委員】

瀧澤利行（会長）、山岸秀雄（副会長）、後藤麻理子、関口利子、山下昌敏、  
齋藤裕文、齋藤弘

#### 【事務局】

地域振興課長、協働推進主査、協働推進主査付

（主な議題）

1. 協働事業提案審査基準について
  2. 協働事業提案評価について
- 

#### 〔議事の経過〕

### 1 協働事業提案審査基準について

会長より、22年度採択された3事業について、実施日や実施予定内容の説明がなされ、その後、「協働事業提案審査基準について」は、各委員の意見をもとに、会長と事務局で、次回の中央区協働推進会議までに第一次修正案を作成することで了承された。委員からの主な意見等は、下記の通りである。

- 「法令・条例への適法性がある」の項目を1点～5点の幅を付けて採点することは、どういう事だろうと思う。合法であれば5点だろうし、違法なら1点であると思う。違法性があるならば、審査の対象外ということになるので、この項目は削除してはどうだろうか。
- 採点項目が非常に細分化されているので、事業内容の全体が見えない懸念がある。
- 「事業の必要性・妥当性」「事業の実現性」「団体の実施能力」の大きな項目で、おおくりに30点、30点、30点とし、フリーな「その他特記事項」を10点で採点するとしたらどうだろうか。
- プレゼンテーションの採点が最高でも5点しかないので、プレゼンテーションで他の提案を点数で追い抜くことが難しいと考える。この項目の採点を大きくした方がいいのでは。

### 2 協働事業提案評価について

各団体が行う事業の中間評価は、団体より事業の進捗状況を言語的な資料で提出してもらい、それに基づいて委員会で事業の現状と課題を確認する。また、その様式や最終評価については、次次回以降で確認をとることが了承された。委員からの主な意見等は、下記の通りである。

- 中間評価の提出時期について、4月から始まる事業に対して、6月、7月の提出では早いと思う。
- 中間評価は点数評価で表現し提出するのではなく、進捗状況も含め言語表記による評価提出をしたらどうだろうか。

- 事業を享受する側の、参加した人の感想みたいなものが分かるような仕組みも必要である。
- 利用者の意見を調査するという項目を協定の中に入れてはどうだろうか。
- 区が基本的に集計するというのも1つ価値があると思う。
- 区側の担当部局としての自己評価も必要であると思う。
- 最終評価については、レポートとプレゼンテーションのような報告会をしたらどうだろうか。
- 報告会の開催は、事業スケジュールの関係から年度を跨ぐかもしれない。
- 報告には映像や写真なども添えてほしい（事業風景のDVDなど）。

3 次回、第2回会議6月29日（水）10：00～12：00

第3回会議7月28日（木）14：00～16：00から行われる事が決定した。